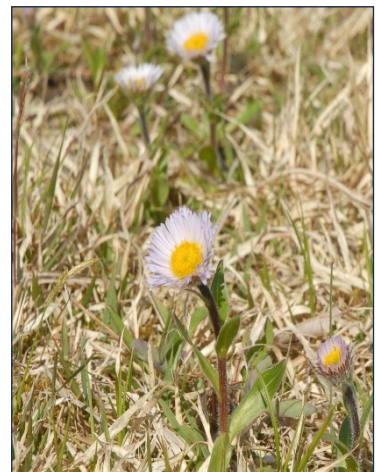
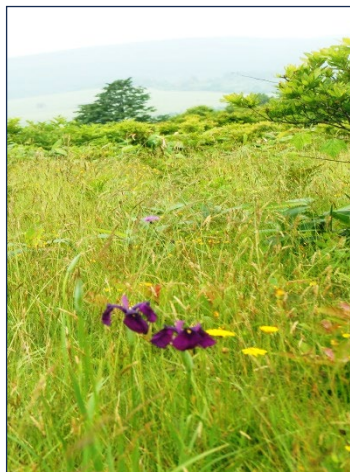


「種山ヶ原は今②⑦」

7月5日 物見山の草刈り 菊池敬、田村、安西さん、ありがとう！

物見山のアズマギクの花も終わり、種が飛んだことを確認し、草刈りを行った。

物見山にも数年前から増えてきた。登山者が楽しみにしている花だ。レンゲツツジの幼木も増えてきた。上手に育てていきたい。カキツバタもさいっていました。



7月16日～30日 物見山登山口と駐車場の草刈り

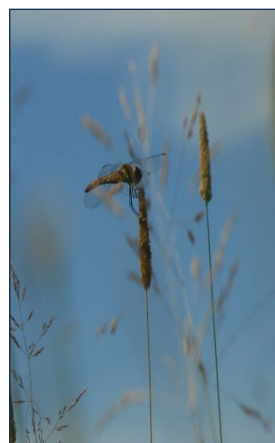
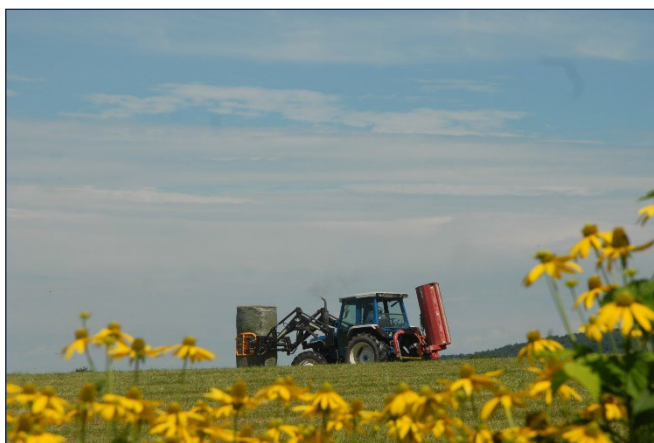
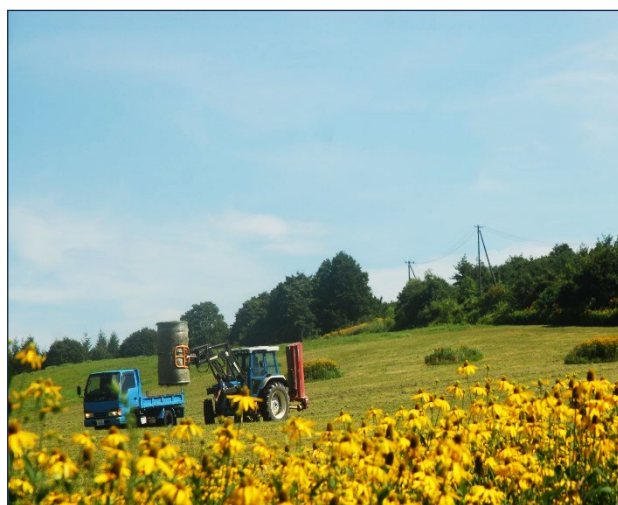
種山ヶ原は風があり、すこぶるさわやか。千葉光紀、菊池敬、田村さんお疲れさまでした。住田町・奥州市職員の方々にも24日に草刈りをしていただきました。多謝！

ネジバナ いっぱい咲いてます



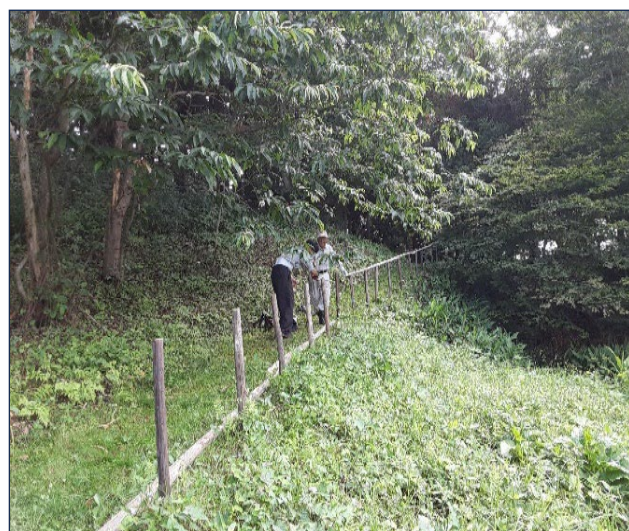
8月3日 種山ヶ原市道草刈り

今日は種山ヶ原も暑い。熱中症にならないように水を飲みながら草刈り。すぐ側の牧草地でも若者が乾し草の取り入れ作業をしていました。今はもう機械化だ。トンボも飛び、すぐそこに秋が待っている。



【詩碑「人首町」への高齢者のための道に手すりを】

稲を干す古いハセを再利用しようと、大内喜三氏(材料提供)から提案があり、準備は大内、三井、山崎が担当。浅倉勝氏の指導で、三井紀悦、山崎勝が作った。立派にでき、みんな満足！



宮沢賢治を世に出した一人「佐伯郁郎」の生家(人首文庫)でアニメ映画『君たちはどう生きるか』の著者吉野源三郎からの手紙が1通見つかる！

<胆江日日新聞7・21より>

戦時中 1943 年 5 月 8 日の消印で、詩人で内務省官僚佐伯郁郎(岩手・江刺出身)に宛てた手紙で、日本少国民文化協会退会への理解を求める内容である。

佐伯研二館主は、「不朽の名作の作者で、宮崎駿監督のアニメ映画で再び注目を浴びている吉野の手紙があるとは思わなかった。戦時下で戦争反対の立場だった吉野が、政府と距離を置こうとしていた思いが伝わる」と話している。

是非人首文庫を訪ねて下さい。建物も展示物も一級品です。

「雷 神」様 この地方では「おれ(雷様)さま」とも呼ばれている

雷が鳴る。どこに落ちるのか心配になるほどだ。雷神たちが太鼓を鳴らしながら、天で怒り狂っているようにも思えてくる。

雷が鳴ると、いつも思い出すのは、祖父が「水木の枝を竈で焚くぞ」と竈の棚にある水木をとりだし、竈で水木を燃やすのだ。すると何故か安心できた。

水木とは、小正月に餅などをつけて飾る赤い木のことで、その時期になるとみんな山にとりに行くのだ。水木が何故雷を治めるかは知らないが、小正月が終わると小枝を束ねて竈の上にしまっておいた。迷信とはいえ、おもしろい風習だと思う。

雷は落ちると怖いが、何故か部落に1つはあり、「雷神」様として祀られている。

雷は、田の上に雨と書く。雨が降らないと田んぼは干上がる。稲妻は、稲の妻と書く。稲妻が光ると稲が妊娠するという言い伝えのある地域もある。

る。豊作を願ってのことだろう。田んぼや米に大切なものとされているのだ。

少し科学的に言うと、稲妻が走り、雷が鳴ると空気中の窒素と酸素と結合して、窒素酸化物となり、やがて雨によって地上に落ち、大地を肥沃にし、稲の生長を促す作用があるという。窒素は三大肥料の一つだ。多分昔の人はそんなことは知らなかったと思う。雷がいっぱい鳴る年は豊作になるという言い伝えさえあり、祈る事しか知らない農家の人達は「雷神」様を建て、常日頃祈り祀っていたのだろう。米里には 15 基も雷神の石碑が立っている。昔は、もっと立っていたのだと思う。

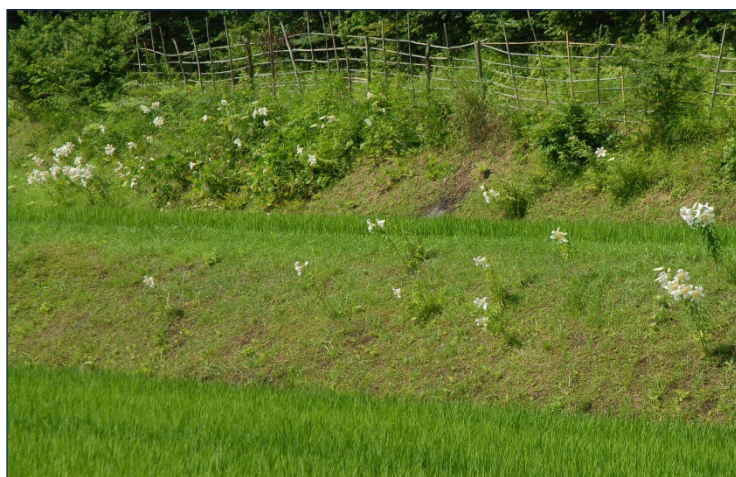
農業高校の先生でもあり、貧しき人々を憂う宮沢賢治は、農家の人々の祈る姿を思い描きながら、ドボルザークの「新世界より」の曲に書いた詩「種山ヶ原」の中に「霹靂のいしぶみ」(雷神の石碑)を書き入れ、生徒にイーハトーヴの夢を託したのだろう。賢治はコロラドの高原を種山ヶ原とダブらせていたとも言われている。賢治にとってのイーハトーヴの一つなのだろう。

だからこそ大切な高原である。今は、山百合が咲き始め、緑の中に白い姿を見せている。又、赤い鬼ユリも咲いている。＜雷神の石碑と雷神様＞





＜山百合とウバユリ＞ 田んぼでは農家の人達がユリのの花を残してくれるんです。多謝！



＜ガクアジサイ＞ この花に会うとうれしくなる。

ウバユリ＝山の鉄砲百合
山の中で見ると不気味でもある。失礼

